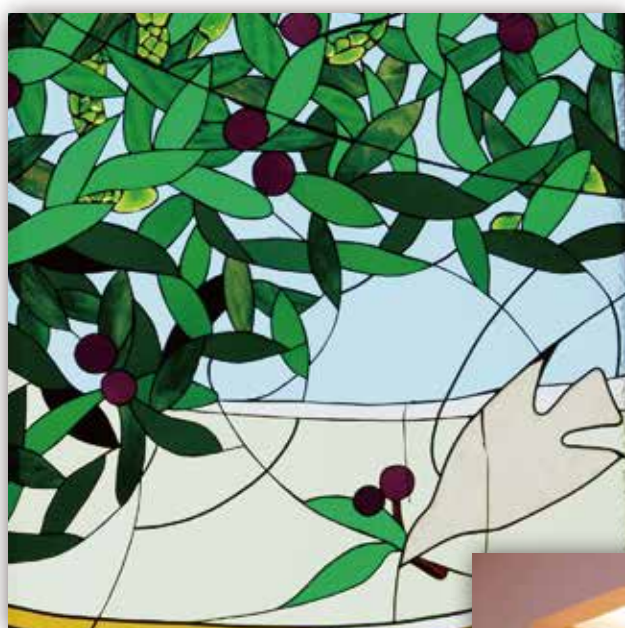


100年に向けて

「清泉百年プロジェクト」
寄付金募集事業



学校法人清泉女学院

2022年4月



『清泉百年プロジェクト』 寄付金募集趣意書



聖心侍女修道会のシスター方が「聖心侍女がその使命としている女子教育を、この長野においても行うことが神のみ旨。」と決意されてから76年の歳月が流れました。

激動の時代の中、時代と地域の要請に応じて、地域や世界に貢献していくために、清泉では2015年から3年間、「次の30年」を見据え、ステークホルダー、地域の方々、識者のご意見を伺い、次の世代の清泉のグランドデザイン“Grand Design of Seisen Jogakuins in Nagano for the Next Generation 2021（略称SJN21）”の構想を描きました。その目標の達成のためのアクションプランが『清泉百年プロジェクト』です。SJN21構想を完成させ、ここ長野の地で、清泉百年の歴史を刻むために、「変わらない大切なもののために、変わる」を旗印に、大学・短大、中学・高等学校の改革を進めてまいります。

【「清泉百年」に向けた清泉女学院の新しい姿】

大学では2018年学芸員資格取得可能で文化をあらゆる観点からデザインし、文化を創生する人材を育成する人間学部文化学科を新設、2019年4月には長野駅東口に建設した新キャンパスで看護学部がスタートしました。さらに、2021年4月から大学院と助産学専攻科が加わり、これにより、看護師、養護教諭、助産師の養成が可能になりました。既存の人間学部心理コミュニケーション学科も新たな国家資格「公認心理師」の資格取得に対応、短大でも伝統ある保育士・幼稚園教諭の養成課程である幼児教育科は資格に特化し、県内唯一の国際コミュニケーション科はキャリアに特化して、専門性をさらに深化させております。留学生や社会人にも教育対象の幅を広げ、地域に不足する有資格者の養成、企業事業所等との協働も積極的に行って参ります。清泉女学院大学・清泉女学院短期大学は清泉百年に向け、甲信越北陸唯一のカトリック高等教育機関として地域の“知の拠点”となり、地域社会と国際社会が最も必要とする人びとを長野で育て輩出し続けます。

中学・高等学校においては、2020年から2本の大きな木を育てています。

1本目の木は「新しい学び」の実践です（新しい学び：主体的、対話的で深い学び 文部科学省）。

この学びの実践は日本の全ての学校に求められています。本校においては、教職員も共に学び合い、表面的なものに終わらない実践を目指しています。

「今、日本の教育は明治維新と同じくらいの激動期にある。」と言われていました。21世紀の「新しい学び」の実践のためには、ICT機器の整備は必須でありました。皆様のご支援により、聖心館の大規模改修を行って、全ての教室にWi-Fi環境を整え、電子黒板機能付きプロジェクターを設置することが出来ました。

また、このコロナ禍におきましても、ICT機器の整備により、教育活動を止めることなく、続けることができました。皆様のご支援に心より感謝申し上げます。

2本目の木について記します。1本目の木は、日本の学力観の転換として、文科省の下に、日本の全ての学校に求められていることです。一方、2本目の木は、長野清泉女学院でしか育てられないオリジナルなものを目指します。まず、「世界的な視野を備えた」女性の育成です。本校の設立母体である聖心侍女修道会は世界の各地に拠点があり、学校を持っています。そのネットワークを生かして、生徒の視野を大きく広げていきます。ICT機器を活用して、海外のシスターや、姉妹校の生徒との交流を深められればと思っています。コロナが終息し、将来的には定期的な現地訪問や海外からの受け入れが実現できればと願っています。そのためには、国際交流の十分な資金が必要とされています。

聖心侍女修道会は弱い立場の人々の教育を行なうことを会の使命としています。海外の姉妹校の中には、校舎も十分に整わない環境で学んでいる子どもたちがいます。そういう子どもたちを支援し、かつ、共に学んでいくことは、本校生の学び、さらには生き方に大きな影響を与えるものと信じています。同時に、地域の皆様に支えられてきた学校として、「地域に貢献出来る」女性を育てます。今後も、今まで以上に地域とのつながりを深めていきたいと考えています。本校の立地を最大限に生かして、ボランティア活動、地元の方々との交流、地域に学校を開くことを積極的に行いたいと思います。そのための拠点としての学校の施設の充実を図っていきます。この2本目の木については、2020年度・2021年度はコロナ禍に見舞われ、充分に行うことが出来ませんでした。コロナ禍が過ぎた後、この2本目の木の重要性は益々高まるものと確信しております。

世界的な視野を持ち、かつ地域を深く知る女性の育成はこれからの時代における本校の大きな使命であると考えています。

『清泉百年プロジェクト』をご理解いただき、新しい清泉の姿に向かってこれらの改革を推進、実現するため、また清泉で学ぶ学生、生徒が充実した教育環境で成長できますよう、教育研究の環境整備・運営、財務基盤の充実のため、5年目となりました『清泉百年プロジェクト』寄付金募集事業にご賛同を賜りたくお願いする次第です。皆様からの温かいご支援をお願い申し上げます。

2022年4月

学校法人 清泉女学院
理事長 深澤 光代

清泉女学院大学・短期大学
学長 田村 俊輔

長野清泉女学院中学・高等学校
校長 大年 邦夫



ご挨拶



清泉女学院を応援していただいている皆様へ

皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

東京から疎開したシスター達が、恩返し of の思いを込めて長野の地で教育をスタートさせてから76年が経ち、私たち清泉に係る方々の絆も大きく広がりました。

そして今、大きく変わる時代のなか、長野の地にカトリックの精神に基づく素晴らしい清泉の教育を残すため、100年の節目に向け「清泉百年プロジェクト」により、清泉が大きく変わろうとしています。

大学での、文化学科の設置、看護学部の設置に続き、看護大学院と助産学専攻科を設置しました。短期大学では、資格やキャリアへの特化を計画し、徐々に結果が出てきています。

中学・高等学校は、「新しい学び」を実践し、「世界的な視野を備えた」「地域に貢献出来る」女性を育成するため、教育環境を整える計画を進めています。

これからの30年を見据えた「清泉百年プロジェクト」を成功させるため、私たち、卒業生、保護者は「清泉百年プロジェクト」寄付金募集事業実行委員会の活動を通じ、全面的に支援をしていきます。そして、地域の皆様、企業・法人の皆様も一緒になって、このプロジェクトを支えていただけることを心から願っています。

皆様のご支援、お力添えを賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

2022年4月

寄付金募集事業委員会

委員長（親泉会顧問）	市村 次夫
委員（親泉会会長）	藤井大史郎
委員（大学泉会会長）	石田 彰男
委員（短期大学泉会会長）	徳永 勇一
委員（中学・高等学校泉会会長）	丸山 和俊
委員（愛泉会会長）	近藤 優子
委員（さゆり会会長）	高橋 智子
委員（大学・短期大学学長）	田村 俊輔
委員（中学・高等学校校長）	大年 邦夫



寄付金募集要項



1. 募集名称

「清泉百年プロジェクト」寄付金募集事業

2. 募集目的

「清泉百年プロジェクト」実現・推進のための費用に充当させていただきます。

大学・短期大学 ①キャンパス施設設備の充実

②教育研究活動の充実

中学・高等学校 ①教育施設設備の充実

②教育活動の充実

3. 募集目標額

2億円

4. 募集期間

2018年11月～2023年3月31日

5. 応募金額

個人の皆様 1口 2千円

法人・団体様 1口 50千円

個人、法人・団体様とも、できましたら2口以上のご寄付をお願いできればと存じますが、任意の金額でのご寄付につきましても有難くお受けいたします。

6. お申込方法

(1) 個人の皆様

「清泉百年プロジェクト」払込用紙（個人用）にて、所定の金融機関・郵便局の窓口でお払込みください。

なお、郵便局・ゆうちょ銀行の払込料金、八十二銀行の本支店間の振込手数料はかかりません。

(2) 法人・団体の皆様

お申し出により必要書類をお送りしますので、清泉百年プロジェクト寄付金募集事業事務局までご連絡ください。

7. 寄付金に対する税制上の優遇措置について

(1) 個人の皆様

学校法人清泉女学院への寄付金は、税額控除対象法人・特定公益増進法人への寄付として、所得税の税額控除または所得控除が受けられます。詳しくは別紙をご覧ください。

(2) 法人の皆様

日本私立学校振興・共済事業団の受配者指定寄付金制度を通じて学校法人清泉女学院へご寄付いただきますと、税制上の優遇措置として寄付金の全額を損金算入することができます。詳しくは別紙をご覧ください。



寄付の御礼



【個人の皆様への御礼】

- 全員の皆様へ
 - ・「清泉百年プロジェクト」寄付事業記念品
 - ・ホームページと銘板(プレート)への御芳名の掲載(ご希望されない方は、申込書の通信欄にご記入ください。)

- 3万円以上ご寄付をされた皆様へ
 - ・上記全員の皆様への御礼
 - ・清泉女学院大学・短期大学の公開講座の無料聴講(10回)

- 5万円以上ご寄付をされた皆様へ
 - ・上記3万円以上ご寄付をされた皆様への御礼
 - ・理事長・学長・校長主催の感謝の集いへのご招待

【法人・団体様への御礼】

- 全員の皆様へ
 - ・「清泉百年プロジェクト」寄付事業記念品
 - ・ホームページと銘板(プレート)への貴法人名の掲載(ご希望されない法人・団体様は、申込書の通信欄にご記入ください。)

- 10万円以上ご寄付をされた皆様へ
 - ・上記全員の皆様への御礼
 - ・理事長・学長・校長主催の感謝の集いへのご招待

- 50万円以上ご寄付をされた皆様へ
 - ・上記10万円以上ご寄付をされた皆様への御礼
 - ・特別記念品の贈呈

清泉百年
— これまでの70年 そして100年へ —
プロジェクト

【ご連絡・お問い合わせ先】

学校法人清泉女学院 清泉百年プロジェクト 寄付金募集事業事務局

TEL. 026-295-5665 (平日9~17時) FAX. 026-295-6420

E-mail: 100nen@seisen-jc.ac.jp